



経営理念『信頼の経営』の実践を通じて、
世界に冠たる特殊鋼メーカーに
発展させてまいります

代表取締役社長
宮本 勝弘



Ovako Imatra 工場 (フィンランド)



Ovako Hofors 工場 (スウェーデン)



Ovako Hällefors 工場 (スウェーデン)

前期2020年度における当社グループの業績は、新型コロナウイルス感染症で需要環境が著しく悪化し、連結経常損益は赤字となる極めて厳しい状況となりました。

2021年度につきましては、主要需要業界である自動車、産業機械、建設機械等の回復により、第2四半期末までの売上数量は当初想定を上回る水準で推移しております。今後の特殊鋼需要につきましては、半導体不足等による自動車減産の影響やそれに伴うサプライチェーンでの在庫増減が現出する事が予想されますが、産業機械、建設機械向けの需要が引き続き好調であることなどから、総じて安定的に推移するものと見られます。一方、鉄スクラップや合金鉄、原油等の価格上昇が継続しておりますので、今後の収益への影響を注視し、9月に公表しましたベース値上げを含む販売価格の改善を含め、必要な対策を講じてまいります。

また、昨今は企業に持続可能な社会の実現に向けた貢献が求められております。特に、気候変動問題は、人類の存続に影響を与える重要な課題であり、当社としても、“2050年カーボンニュートラルの実現を目指す”方針を経営計画の基本方針のひとつに掲げ、2021年7月には2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップを公表しました。また、TCFD提言への賛同を表明し、本レポートにおいて、気候変動が当社グループの事業活動に与える影響等の情報開示を行うことといたしました。

欧州子会社のOvakoでは、脱化石電力を活用したカーボンフリー水素プラントの建設やカーボンオフセットプログラムを活用したカーボンニュートラルへの移行決定など、世界的にも先進的な取り組みを進めております。

脱炭素に向けたCO₂排出削減やエネルギー効率向上の面でも、当社グループが得意とする信頼性の高い特殊鋼製品へのニーズは一層高まるものと考えております。当社グループの強みが発揮できる大いなる機会と認識し、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献するイノベーション創出や需要家の環境課題に貢献する新たな鋼材ニーズへの対応等を推進してまいります。

そして、当社グループが持続的に成長していくためには、全ての従業員が心身とも健やかであることが必要です。ものづくり企業である当社グループにとって、安全と健康は事業活動の大前提であり、全てに優先するものとなります。このような認識のもと、当社グループは2021年8月に「山陽特殊製鋼 健康経営宣言」を策定し公表しました。代表取締役社長を最高健康責任者とする健康経営推進体制を整備し、社員一人ひとりが安全で健康的に働きがいのある仕事に日々取り組むことができる職場づくりに取り組んでまいります。

経営理念『信頼の経営』の実践を通じた誠実・公正・透明な企業経営を推進することによってステークホルダーの皆様との信頼を積み重ねることが、当社グループが将来にわたって守っていくべき価値観であると考えております。

当社グループは、これからも『信頼の経営』の実践を通じて、大きく変化する経営環境下においても自らの持続的成長を図るとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。本レポートを通じて、当社グループの活動を一層ご理解いただき、さらなるご支援とご助力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月25日に山陽特殊製鋼の代表取締役社長に就任いたしました宮本勝弘です。

会社経営にあたっては、経営理念『信頼の経営』を継承し、その実践を通じた信頼を積み重ねていくとともに、強みである高品質度鋼製造技術を軸に技術先進性をさらに高め、当社グループを世界に冠たる特殊鋼メーカーとしてさらに発展させてまいります。

近年の動きとしては、当社は2019年に日本製鉄グループの一員となり、欧州の有力特殊鋼メーカーOvakoを完全子会社化するなど、グローバルな特殊鋼メーカーとして大きな変革を遂げました。これにより、独自に培ってきた“高信頼性鋼の山陽”というブランドに加えて、安定した経営基盤とグローバルな製造・販売ネットワークが整いました。また、姫路の本社工場では、2021年1月に生産構造改革投資として進めていた中小形圧延工場のリフレッシュ工事が完了し、鋼材の小径化・小ロット化といった需要構造の変化に将来にわたって対応できる体制を構築しております。

こうしたなか、当社グループを取り巻く中長期的な需要構造変化や国際的な競争激化を見据え、2025年度までの5年間の実行期間とする経営計画（25年中期）を策定いたしました。この経営計画では、Ovakoのほか、インドの一貫特殊鋼メーカーMSSSをはじめとする海外事業の収益力強化や、当社・Ovako・日本製鉄による3社連携シナジーのフル発揮等を通じたグループ全体の競争力強化などにより、中長期的な特殊鋼の需要構造変化や国際的な競争激化の中でも安定的に収益を確保できる盤石な企業体質を確立し、グローバルな特殊鋼マーケットでの企業価値の更なる向上を図ってまいります。

